

初めて参加させていただいた全国大会

平成28年8月20日(土)と21日(日)に第64階日本PTA全国研究大会、徳島渦潮大会が開催されました。そして富士市PTA連絡協議会の齋藤会長はじめとして4人のメンバーで参加させていただきました。

第一日目の土曜日は分科会の会場の一つとなる鳴門市文化会館へ行きました。

前日に愛媛県四国中央市の少年自然の家で、小学校の課外活動で訪れていた小学校5年の女子児童が昼食で、ソーセージを喉につまらせて死亡する事故が起こり、学校と家庭、そして地域とがこのような事故が生じた場合の関わり方について、小学4年の保護者である私も非常に考えさせられながら会場入りをしました。

この会場では、「子供を取り巻く課題の解決に向けて」ということを研究課題として討議が行われました。

具体的には、公益社団法人日本PTA全国協議会が今日的課題としている「貧困」「コミュニケーション力の不足」「メディアの多様化」「いじめ」「学力」「新たな学び」という6つの課題のうち、「コミュニケーション力の不足」と「メディアの多様化」について研究討議が行われました。昨今の通信技術の発達によってメディアが新聞、テレビといったもの以外にインターネットの普及により、メディアが多様化し、メールやSNSを介したトラブルが発生して、多くの子供たちがそれに巻き込まれている状況が生じていることをこの討議でもあらためて認識した次第です。

そして、このようなインターネットの普及によって、様々な利便性が向上する一方で、個々人が直接対面してコミュニケーションをとることが相対的に減少し、SNSなどを通じて間接的にコミュニケーションをとる機会が増えてきたことによるコミュニケーション自体の変化が、様々な問題を生んでいることを認識させられました。

このように子供たちのみならずや保護者も含めた家庭環境の変化に対して、保護者が正確な情報を把握して、それを子供たちに伝え、人と人との関わり方、すなわちコミュニケーション力とはどういったものか、今後どうあるべきかを考える勉強をしてまいりました。

分科会では多様化したメディアによる利便性、そしてコミュニケーション不足を原因とした課題について多くの事例を元に討議が行われました。

家庭、学校、地域といった子供の直接置かれた環境を把握して、そこにいる人々との関わり方や在り方について討論されました。

2日目の日曜日は全体会に参加させていただきました。大会実行までの様々な関係各位のご苦勞とこの大会に対する意気込みを感じる事が出来ました。徳島県知事や徳島市長の全国から集まったPTA関係者に対する歓迎が伝わってきて、富士市のPTAのあり方にも参考になるお話もありました。

静岡への帰宅の電車の時間の関係で講演を聴けなかったことが残念ですが、全国大会に初めて参加させていただきました。

行く前と行った後で、全国大会に行くことの意義が自分の中で大きく変わりました。

参加の機会をいただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

富士市PTA連絡協議会  
副会長 清 淳也